

要件：狛江市長との打ち合せについてのメモ

日時：2014年2月24日、午前9時半～9時50分

場所：市役所4階会議室

参加者 市側：高橋市長、向後環境政策課長、榎本学校教育課長、  
宗像学校教育課副主幹

3団体側：三団体代表7人

---

今回の市長懇談は、昨年10月に三団体で市長宛に出した要望書、①学校・保育園の給食の放射能検査にあたり、検査器を購入すること、および②学校・保育園の地表5cmでの空間線量測定と土壌検査の実施の二点について、市長と話し合うことでした。

今回の面会時間が15分と限られていたため、測定器購入は要望の再確認をただけに留め、子どもがいる公共施設（小・中学校、保育園、学童）での市と市民の協同による空間線量測定と土壌測定の要望に殆どの時間を集中して話しました。

以下、会議の簡単な内容をメモしました。

3団体：

この間の市の放射能測定に関しては走行サーベイなど前進があったことを評価し、3頁にある「要望書」のお願いを簡単に説明した。

- ① 学校・保育園の給食について放射能検査器を購入して測定して欲しい
- ② 公共施設での地上5cmでの空間線量の測定+土壌測定を市民とともに測定して欲しい

高橋市長：

- ・放射能関係で市の職員が皆さんに伝えていることは全て私の許可をとったものを伝えている。
- ・学校・保育園の給食の放射能測定については今まで市職員の話して来ているとおりで、これで充分だと思っている。(外部委託している現行の)市のやり方を変更する考えはない。(なぜ充分なのか説明はない)。
- ・市の放射能測定に関しては「大きな前進があった」と思う。
- ・ホットスポットを探すなど、市民の恐怖をあおるようなことはして欲しくない。
- ・(市長にうながされて榎本課長から) 来年度の放射能測定については、子どもがいる公共施設(保育園、学童、小中学校)で(各施設)一年に一度、公開で行う。その時には市民と測定を行う考えである。原則、一施設1カ所にしたい。

3団体：

1カ所では少ない。希望を入れて欲しい。各公共施設で公開測定をするときには測定場所を決める時点から市民を参加させて欲しい。

高橋市長：

測定場所などは市の計画に沿って行うが、現場で市民の要望も聞きながらやる。測定に時間かかからないように配慮して欲しい。

3団体：

測定方法について事前に市と打ち合せする機会を持たせて欲しい。

向後課長：

打ち合せをしたいという要望があったことを受け止める。

3団体：

4頁にある、子どもの健康検査の結果を市長に手渡し、狛江の子どもの放射能の影響が出ていないか心配していることを伝え、空間線量のみでなく、内部被曝に関わる土壌検査の必要性を訴えた。

高橋市長：行政と市民が一緒になってホットスポットを作らないということでは市の考えも同じ。

高橋市長：隠し事はしない。土を持って行くなど絶対にやめてほしい。常識の範囲内で市も協力するつもりだ。

高橋市長：各施設の教員職員の放射能に関する知識の向上をしていく。

以上

狛江市長 高橋都彦 様

### 要望書について

既に二つの要望書は昨年 10 月にお渡ししているのを読まれていると思いますが、ごく簡単に説明させていただきます。

私たちは放射能の感受性が大人の 4 倍から 10 倍ほど高いと言われている子どもたちを放射能被害から守るために、今回の要望書を提出しました。

一つは学校・保育園の給食の検査器を購入していただきたいという点です。今年度から外部委託で検査をすることになり、来年度も続けられると聞いておりますが、こうした施策は一步前進と受け止めています。(説明中に市長:一步ではない、大きな前進だ!)しかし、各施設当たり月 1 回の検査です。検査器を購入すれば週 1 回に増やすことができ、また空き時間で食材検査や土壌検査も可能です。自ら測定することで市と市民の放射能に対する意識も格段に高めることができます。外部委託の予算で、測定する運営費は出ます。国立市などでも実施しています。ぜひ、狛江でも採り入れていただけないでしょうか。

二つ目は学校・保育園の地上 5 cm での空間線量の測定と土壌検査の実施です。昨年の初めから市内の主な道路と校内・園内の走行サーベイを実施し、平均的な空間線量を測定していることは市民に安心感を与えていると思います。しかし、走行サーベイでは局部的に汚染されている場所を見つけることは難しいのです。これまで私たちは公園や遊歩道などで放射能が集積されているところをいくつか見つけてきました。その経験から、特に子どもの生活圏については土壌検査の必要性を強く感じています。ある小学校の校庭で走行サーベイの値は通常 ( $0.051 \mu \text{Sv/h}$ ) でしたが、その土壌を測ったところ普通なら  $10\text{Bq/kg}$  以下のはずが、 $360\text{Bq/kg}$  と桁の違う値が出ました。市の担当部局ともお話をさせていただき、その小学校については 3 カ所ですが測定をすることになっています。しかし、市民の立会いを認めていただけません。さらにその他の学校や保育園は対象にしていただけません。ぜひ、学校・保育園内について、地上 5 cm での空間線量を測定し、局部的に線量が高いところの土壌検査をお願いしたいと思います。その際、市民も一緒に参加できるようにしていただきたいと切に要望します。また、菜園の土壌も併せて検査していただければ安心は倍加します。なお、土壌検査は議会で承認いただいています。

この 2 点、給食検査器の購入と、学校・保育園の地上 5 cm での空間線量測定と土壌検査について要望を実現していただけないでしょうか。

狛江の子どもの未来を守るネットワーク 新澤克憲  
野菜プロジェクト 高木聡子  
狛江の放射能を測る会 西尾真人

# 粕江の子どもたちの検査結果

コマエ/コドモの自主測定

## 甲状腺の「のう胞」

みつかった  9人

みつからなかった  6人

## 尿中の放射性セシウム

検出された  3人

検出されない  2人

甲状腺検査は 2013.9 集計 1歳から10歳のこども15人

尿検査は 2012.5 ~ 6 実施 4歳から8歳のこども5人